



第35回京都賞記念ワークショップ 先端技術部門  
The 2019 Kyoto Prize Workshop: Advanced Technology

# 有機ELの科学と技術： 現在、そして広がる未来

Science and Technology of Organic Light-Emitting Diode: Present Status and Future Prospect

受賞者 | チン・W・タン  
Ching W. Tang

2019年11月13日(水) 13:00～17:15 九州大学 稲盛財団記念館

- 主催：公益財団法人 稲盛財団 ■共催：九州大学
- 後援：京都府 京都市 福岡県 福岡市 NHK ■協力：九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター
- 協賛：応用物理学会 有機EL討論会 Society for Information Display 日本支部
- 申込方法：京都賞ウェブサイト内の申込専用フォームに必要事項を入力の上、お申込みください  
URL <https://www.kyotoprize.org>
- お問い合わせ：稲盛財団 京都賞事務局 Tel 075-371-8080  
京都賞ウェブサイトのお問い合わせフォームからも承ります

使用言語：英語  
入場無料

定員200名  
(申込受付順)

# 第35回 京都賞記念ワークショップ



先端技術部門 受賞者  
**チン・W・タン**

Ching W. Tang

化学者  
香港科技大学 IAS東亜銀行教授  
ロチェスター大学 名誉教授

**有機発光ダイオード(有機EL素子)の高効率化と  
実用化およびその応用への先駆的貢献**

二層からなる有機EL素子構造を考案し、発光効率が高く、低電圧で動く素子を初めて実現するとともに、構成材料や素子構造の改良で、さらに性能を向上できることを示した。この先駆的貢献により、有機EL素子の実用化の道が開かれ、これを用いた表示装置や照明機器の実現と普及がもたらされた。



■企画 **筒井 哲夫**

九州大学  
名誉教授



■企画 **安達 千波矢**

九州大学  
教授



**Karolis Kazlauskas**

ヴィリニウス大学  
チーフ・リサーチ・フェロー



**梶 弘典**

京都大学  
教授



**Sebastian Reineke**

ドレスデン工科大学  
教授